

発言者	内容
司会（会長）	国語科書写の教科用図書について審議する。 東京書籍についていかがか。
委員	表紙裏の「見開きの文字を書くって何だろう」では、生徒の興味関心を惹く工夫がされており、手書きの良さを感じさせるものであった。 小学校でも、筆の運び方を、「とん すう ぴたっ」と音で表現しており、音で表しているのが、わかりやすかった。
委員	音で表現しているのは覚えやすい。筆の運びもわかりやすいのではないか。 報告書を見ても平均以上の評価ではないか。書写活用ブックの取り外しができないのが、やや物足りない。
委員	なじみがないので、見やすさを基準に判断してもよいか。
司会（会長）	手書きの良さを改めて感じさせる。書写活用ブックを取り外しできるほうが良いかどうか賛否両論ではないか。 また、書写テストがあり、作品以外で評価することができる。
司会（会長）	三省堂についていかがか。
委員	左利きの生徒に対応している解説動画や補助教材などのデジタルコンテンツがあり、多様性への配慮が見られるのが良い。
委員	私も同じように感じた。 また、いろいろな書体について取り上げているところも評価できる。
委員	左利きの生徒に配慮するのは良い。
司会（会長）	「鉛筆なぞり書き」では、都道府県の名産品や地図の資料があり、社会科の学習と関連付けることができる。 書道道具を作る過程がわかる資料があり、良いと思った。
司会（会長）	教育出版についていかがか。
委員	机の上で、習字をする中で教科書の幅の大きさは少し検討する必要があるのではないか。内容的には変わらないが、いかがか。
委員	生徒はSNSを使うことが多い中、手紙などのページがあるのは良いのではないか。

委員	改めて、机の上でする習字について考えさせられた。 用具の置き方に、左利きの生徒のための写真があり、多様性への配慮が見られる。
司会（会長）	写真が大きく多いので、生徒の興味をひきやすい。手本に中心線の表示がある。表紙も書道の教科書にふさわしい。
司会（会長）	光村図書についていかがか。
委員	漫画のイラストが多い。わかりやすいのではないか。
委員	デジタルコンテンツを取り入れながら、わかりやすい構成ではないか。 手本が1ページに1文字書かれていて、実寸に近い大きさなので、見やすく書きやすい。
委員	一番、見やすく感じた。
司会（会長）	最初に取り外して使える書写ブックがあり、最後に書初めをまとめた構成がよかった。筆圧がわかりやすい。 左利きの生徒のための動画や、道具の配置についての写真があった。
司会（会長）	総括をする。 以上のことから、光村図書を1番に、教育出版を2番に推薦する。

